

HEART NEWS

2014年5月1日発行

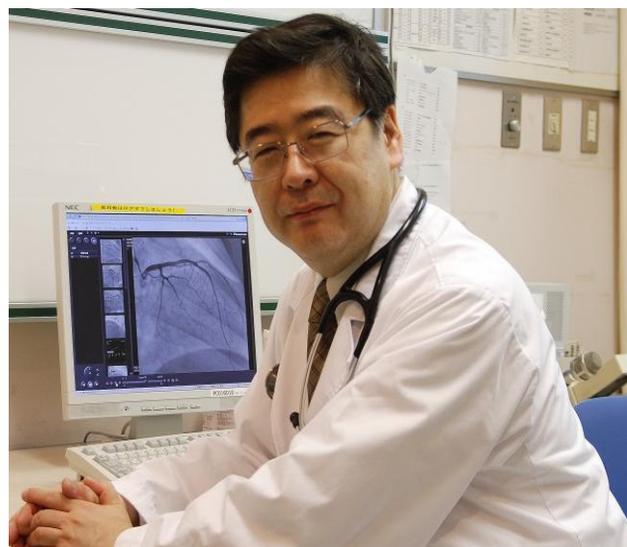
Vol. 7

大阪市立総合医療センター循環器センター



新しい年度に入り最初のハートニュースの発行となりました。

心臓血管外科の柴田利彦先生が3月末で異動され、今年度から私が循環器センター部長に就任いたしました。また大阪市立大学より佐々木康之先生が心臓血管外科部長として着任され、張り切っておられます。循環器内科、心臓血管外科ともにこれまで同様地域医療機関との連携強化に努め、どのような心血管疾患に対してもレベルの高い医療を提供できるように、なお一層努力したいと思っております。循環器内科、心臓血管外科とも若手のレジデントが加わり、これまで以上に活気のある循環器センターとなりますので、今後ともご支援よろしくお願ひします。



大阪市立総合医療センター
循環器センター部長
循環器内科部長

成子隆彦

循環器内科のご紹介

循環器内科は、循環器センター直通電話（ハートライン）、循環器センター広報誌（ハートニュース）を通じ地域医療機関の連携に努めておりますが、今年度は以下の分野にも積極的に取り組みたいと思います。

- 1) 末梢動脈疾患の包括的治療：末梢動脈疾患、特に重症下肢虚血は糖尿病や透析患者に多く、今後疾患の増加が予想されます。当院の総合病院としての機能を生かし代謝内科、腎臓・高血圧内科、皮膚科、形成外科、整形外科と連携して治療に努めてまいります。
- 2) 不整脈治療の充実：今後増加が予想されます心房細動を始めとするカテーテルアブレーションの充実に努めていきたいと思ひます。特に透析患者を始めとする合併症のあるカテーテルアブレーションの治療も総合病院としての特性を生かして、積極的に取り組んでいきたいと思ひます。
- 3) 心不全チーム医療：近年入院が増加している心不全の治療について、院内の看護師、栄養士、薬剤師、理学療法士を始め、地域医療機関、在宅医療に関わる看護師、ケアマネージャーを含めた心不全チームを計画しています。



副部長
小松龍士



副部長
中川英一郎



副部長
阿部幸雄



医長
占野賢司



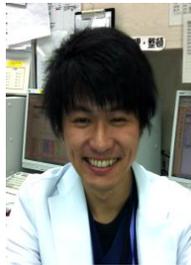
医長
柚木佳



レジデント
古川敦子



レジデント
吉山智貴



レジデント
松下司



レジデント
加川俊介



レジデント
赤松加奈子

5月 循環器内科外来担当医のご案内

	月	火	水	木	金
午前	阿部	小松	占野	柚木	成子
午後	阿部	小松	中川	柚木	成子
	中川(ペースメーカー)		古川(2,4,5週)		

※ 4月から占野先生が、水曜日の午前の外来、古川先生が水曜日の奇数週の午後を担当します。

地域初診外来

	月	火	水	木	金
午前	成子			成子	阿部
午後			占野(不整脈)		

心臓血管外科のご紹介

4月より前任者の柴田部長と交代し、心臓血管外科部長を務めさせて頂くことになりました。長年にわたり大阪市立大学医学部附属病院で心臓血管外科医として働いてきた経験を活かして頑張りたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

当院の心臓血管外科では弁膜症手術が60%を占めている状況でしたが、糖尿病患者を中心に重症多枝病変の症例が増加しており、今後は完全血行再建を目指した多枝バイパスや、前下行枝(LAD)の瀰漫性狭窄病変に対するendoarterctomy(内膜摘除術)やonlayパッチバイパスを用いたLADの完全血行再建術も積極的に施行していきたいと思っております。

本年4月よりハイブリッド手術室(高機能血管造影+手術台)の運用が始まり、胸部・腹部大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術を中心に、外科手術のみでは対応困難な重症例に対して、冠動脈バイパス術+冠動脈形成術(カテーテル治療)などのハイブリッド治療も積極的に行っていきたいと思っております。

また循環器センターとして、循環器内科医と心臓血管外科医が24時間対応可能な診療体制をとっております。急性大動脈解離や胸部・腹部大動脈瘤破裂に対する緊急手術や、緊急冠動脈バイパス手術等の救急手術の受け入れももちろん可能です。どうぞよろしくお願い申し上げます。



部長
佐々木康之



副部長
加藤泰之



医長
元木学



医長
高橋洋介



レジデント
森崎晃正



レジデント
宮部誠



レジデント
因野剛紀

5月 心臓血管外科外来担当医のご案内

	月	火	水	木	金
午前	交代制	佐々木	高橋	加藤	元木
午後	交代制	佐々木	高橋(1,3週)	加藤	柴田(弁膜症)・元木

※ 柴田前部長は、異動後も金曜午後の弁膜症外来をはじめ、引き続き当院の心臓弁膜症診療に携わります。

今号の循環器センター日記

大阪市立総合医療センター循環器センターでは、臨床に教育、そして研究を加えたこれら3つがバランス良く揃うことを目標にしています。

最近では、3月に東京で開催された日本循環器学会総会(写真上)、4月に金沢で開催された日本心エコー図学会(写真中)において、複数の臨床研究結果の発表を行ってまいりました。動脈硬化や大動脈弁狭窄の機序、大動脈弁狭窄の診断、心房細動に伴う僧帽弁逆流の診断や手術などがテーマです。

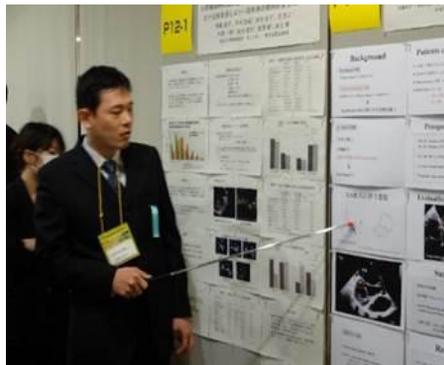
日本心エコー図学会では、心エコー図検査に携わる内科医のみならず、柴田・前心臓血管外科部長、および、高橋心臓血管外科医長(写真下)からも外科医の見地からの講演や発表がありました。

このように内科・外科で一丸となって臨床に直結するような研究を発信すべく、日々がんばっております。

もちろん日常臨床においても、間口は広く、敷居は低く、の精神で、近隣の先生方の、ひいては患者さんのお役に立てるよう努力しております。

さて、柴田前心臓血管外科部長が、大阪市立大学に異動いたしました。心臓血管外科は新たに赴任した佐々木部長のもと、新体制で頑張っていく所存です。柴田前部長も金曜日の弁膜症外来を含めた当院の心臓弁膜症診療に引き続き携わる予定です。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



当院循環器内科、心臓血管外科は近隣の先生方からの循環器救急疾患をさらに迅速に受けられることができるようにするため、循環器センター直通電話（ハートライン）を設置しております。

**ハートライン（循環器センター直通電話）
06-7662-7979**

その他の場合は御面倒ですが、06-6929-1221（代表）から呼び出して下さい。